



ひと、暮らし、  
みらいのために  
厚生労働省

Niigata Labour Bureau

新潟労働局

Press Release

新潟労働局発表  
平成30年3月7日

新潟労働局職業安定部職業安定課

職業安定課長 萩原 義博

職業安定課長補佐 星野 浩

地方労働市場情報官 小池 誠

TEL : 025-288-3507 (夜間) 025-288-3540

報道関係者各位

## 北陸ブロック内雇用情勢報告(平成29年10～12月四半期分)について

北陸ブロック(新潟県、富山県、石川県、福井県)内の雇用トピック等を含む雇用情勢報告(平成29年10～12月四半期分)について公表します。

今般、労働行政へのニーズの高まりに対応し、雇用情勢についての情報提供をより一層促進するため、四半期ごとの雇用情勢等について全国のブロックごとに公表することとなり、北陸ブロックについては、新潟労働局が主要局として公表を行うものです。

### ※ 公表内容について

- ・「企業の生の声」については、事業所へのヒアリング等で聞かれた企業の声の中で、地域の雇用動向に関わるものや特徴的な声を集めたものであり、今回は働き方改革(長時間労働の抑制と有給休暇取得促進、賃金)に向けた企業の取組を掲載しました。
- ・「担当窓口の声」については、毎回設定されたテーマに沿ってハローワークの担当者が窓口業務を通じて感じた声を集めたものであり、今回は多様な求職者の担当窓口の担当者が感じた声を掲載しました。

## 北陸ブロックの雇用動向

【平成29年10－12月期の雇用情勢判断】  
「雇用情勢は、改善している」（判断維持）

	平成29年10－12月期						
	就業地別 有効求人倍率	受理地別 有効求人倍率	新規求人数 増減率	新規求職者数 増減率	正社員 有効求人倍率	雇用保険 被保険者数 増減率	雇用保険 受給者実人員数 増減率
	【季調値】 (対前期差) (単位:倍、ポイント)	【季調値】 (対前期差) (単位:倍、ポイント)	【季調値】 (対前期比) (単位:%)	【季調値】 (対前期比) (単位:%)	【原数値】 (対前年同期差) (単位:倍、ポイント)	【原数値】 (対前年同期比) (単位:%)	【原数値】 (対前年同期比) (単位:%)
北陸 ブロック	1.77 (▲0.01)	1.72 (▲0.01)	2.4	0.5	1.33 (0.22)	2.5	▲3.4
新潟 県	1.56 (0.01)	1.55 (0.03)	5.3	1.5	1.19 (0.24)	1.7	▲3.1
富山 県	1.99 (▲0.03)	1.81 (▲0.04)	1.8	0.2	1.48 (0.25)	2.5	▲4.1
石川 県	1.81 (▲0.03)	1.83 (▲0.03)	▲1.5	▲2.0	1.34 (0.16)	3.6	▲3.5
福井 県	2.09 (▲0.04)	1.98 (▲0.08)	1.0	1.0	1.59 (0.21)	3.0	▲3.3

※ 雇用保険被保険者数については、一般、高年齢、特例被保険者の合計値。雇用保険受給者実人員については、一般被保険者の数値である。

## 総括表

### 1 北陸ブロックの雇用動向

- ・就業地別有効求人倍率(季調値)は1.77倍で、前期と比べて0.01ポイント低下。
- ・受理地別有効求人倍率(季調値)は1.72倍で、前期と比べて0.01ポイント低下。
- ・受理地別有効求人数(季調値)は10期連続で、前期を上回った。

### 2 企業の生の声(働き方改革に向けた取組状況)

(1)働き方に融通が利く生産ライン(通称「子育てライン」)を設置した。短時間勤務制度を利用する社員の退社時間にラインが停止するため、制度利用者が退社しやすい環境となった。

(2)計画年休制度を導入しつつ、年1回、前年度分の年次有給休暇取得率を社内報及びホームページ上で公表することによって、年次有給休暇の取得率95.3%、平均取得日数17.3日を達成した。

### 3 多様な求職者の担当窓口の声

(1)どのような求職者が就職に結びつきやすいと感じているか。

①治療中の者; 病気の特徴を理解し、病状等を企業に告知した上で、就職を希望する者。

②ニート;コミュニケーション能力等、社会生活をする上での準備ができている者。

(2)求職者が重視している要素はどのようなものがあるか。

①治療中の者; 職場に病気を理解してもらい、仕事内容や通院等のための労働条件に配慮してもらえるか。

②ニート;人間関係に起因する精神的負担やストレスが溜まらない職場を重視する。

(3)最近の求職者の特徴的な動きはないか、その他、選定したターゲットの属性に応じた項目

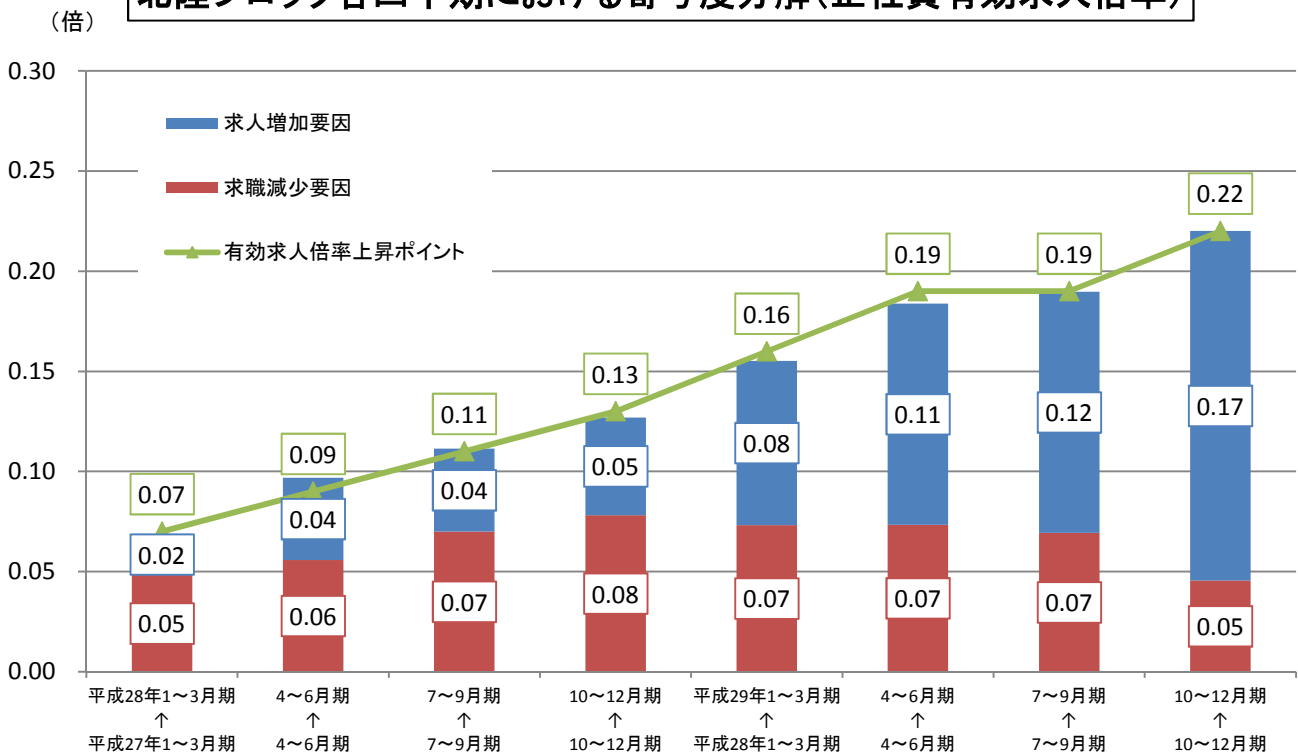
①治療中の者; 最近病状等をオープンにして求職活動する者が増えてきた。

②ニート;人間関係や仕事ができるかどうかなどの不安が先に立ってしまう者が多い。

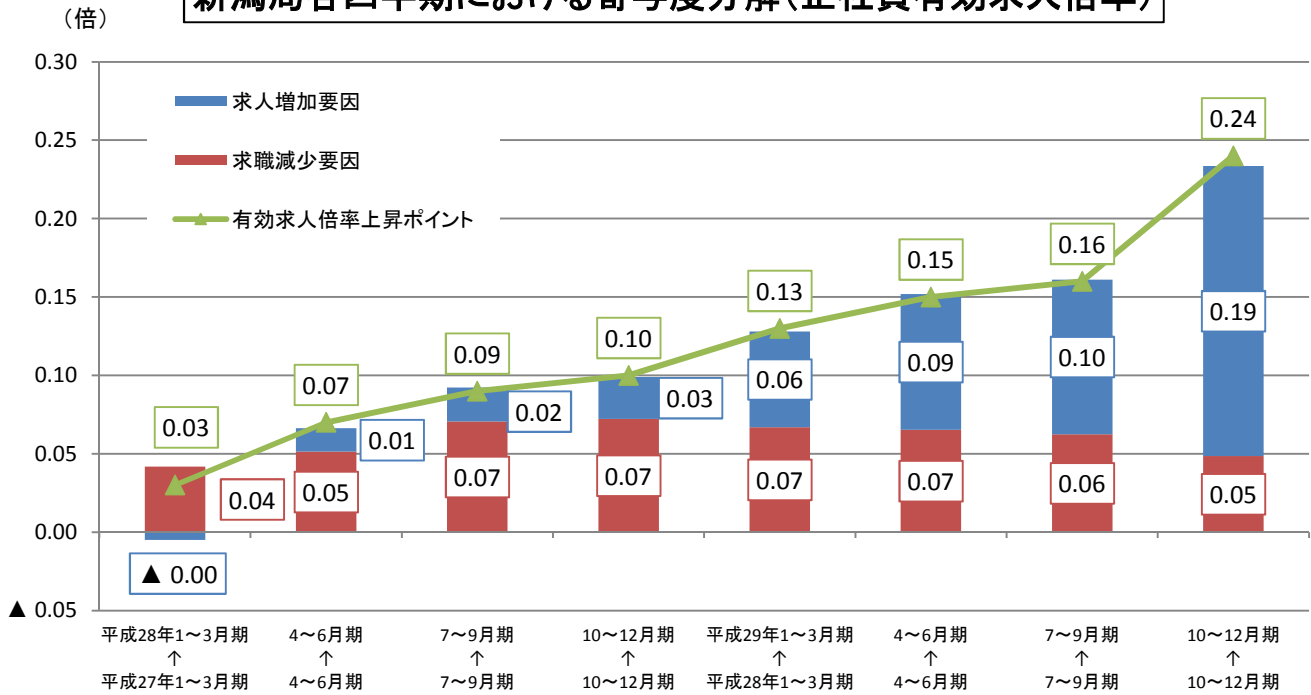
## 雇用動向におけるトピック

- 10月～12月平均の受理地別有効求人数(季節調整値)は前期比で1.6%増加し、10期連続で前期を上回った、有効求職者(季節調整値)は前期比2.1%増加し、2期連続で前期を上回った。
- 10月～12月平均の受理地別有効求人倍率(季節調整値)は1.72倍となり、前期を0.01ポイント下回り、10期ぶりに前期を下回った。
- 10月～12月平均の新規求人数(季節調整値)は前期比で2.4%増加し、7期連続で前期を上回った。
- 10月～12月平均の新規求人数(原数値)を主な産業別に、前年同期と比較してみると、建設業(581人増、15.7%増)、製造業(738人増、12.0%増)、運輸業等(292人増、12.8%増)、卸売業、小売業(693人増、8.1%増)、宿泊業、飲食サービス業(45人減、1.2%減)、医療、福祉(348人増、4.7%増)、サービス業(242人増、5.5%増)となった。
- 10月～12月平均の正社員有効求人倍率(原数値)は1.33倍で前年同期より0.22ポイント上昇した。

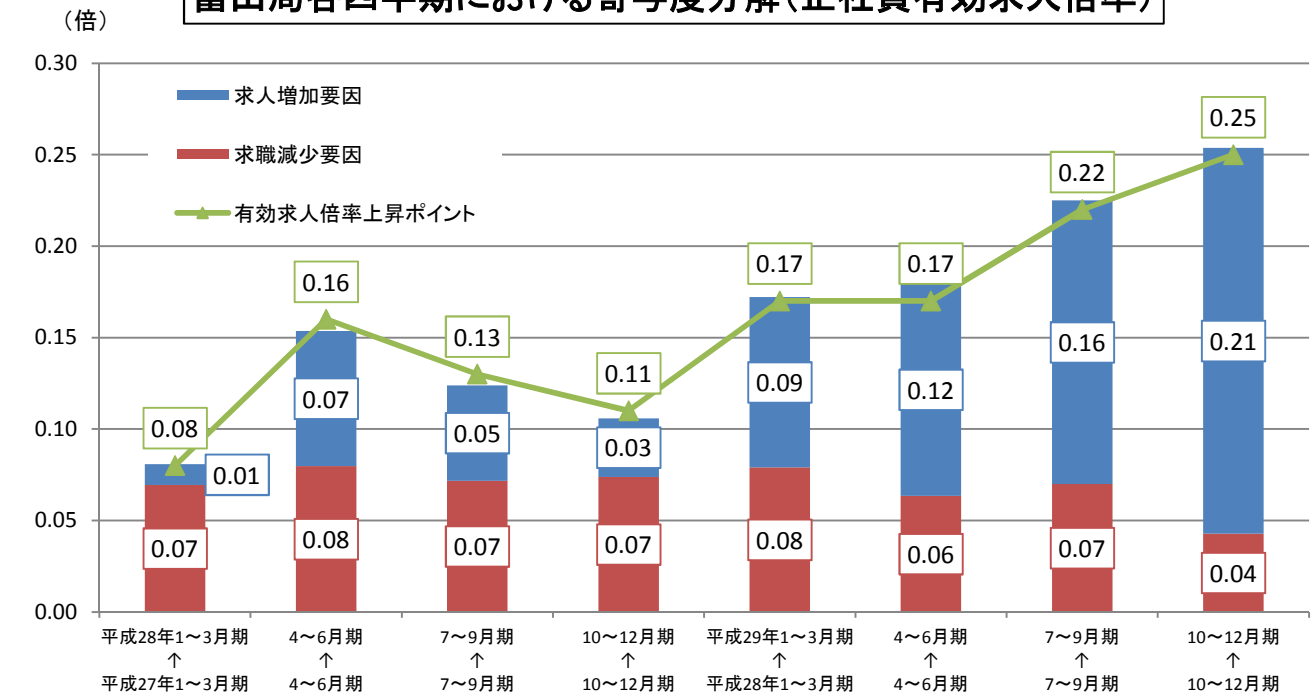
北陸ブロック各四半期における寄与度分解(正社員有効求人倍率)



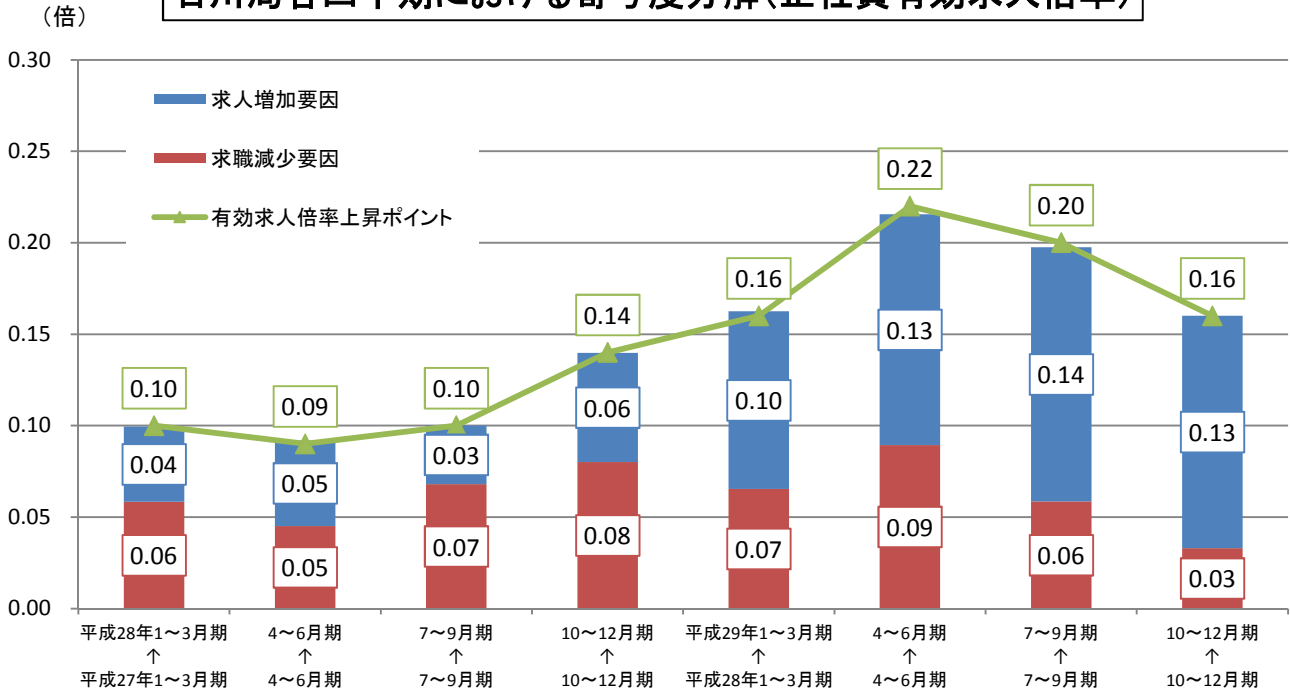
### 新潟局各四半期における寄与度分解(正社員有効求人倍率)



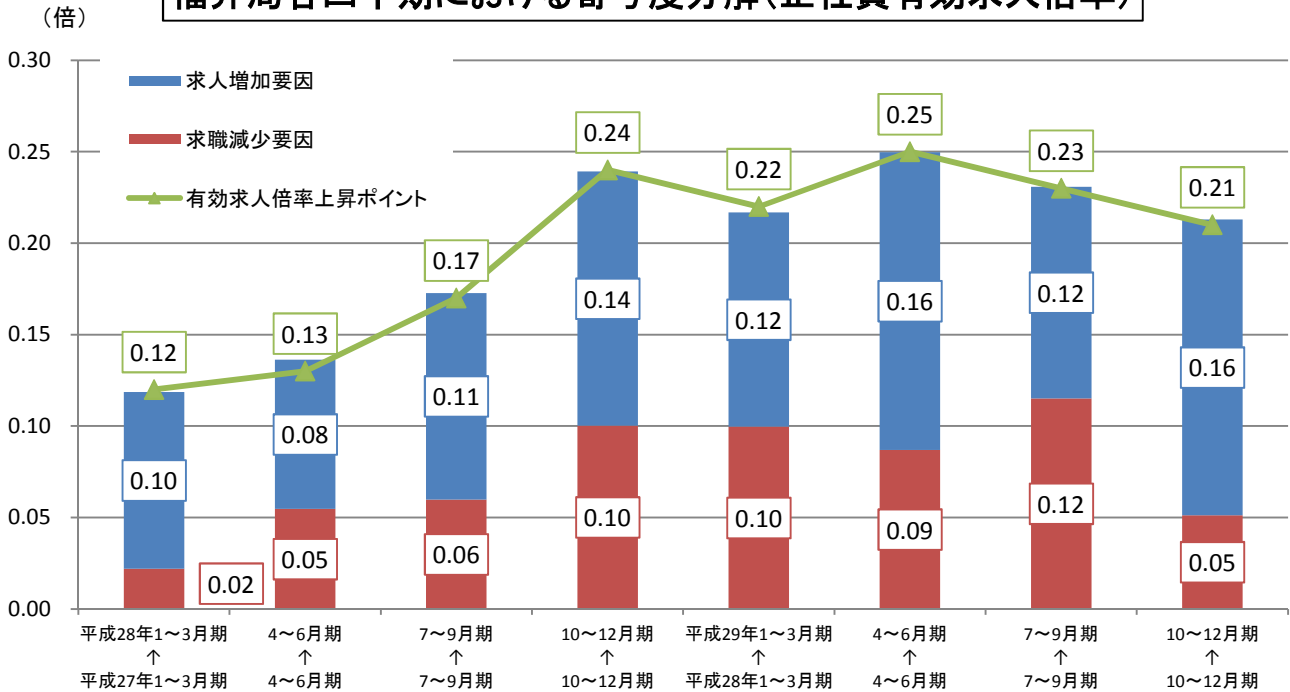
### 富山局各四半期における寄与度分解(正社員有効求人倍率)



### 石川局各四半期における寄与度分解(正社員有効求人倍率)



### 福井局各四半期における寄与度分解(正社員有効求人倍率)



## 企業の生の声

### 働き方改革(長時間労働の抑制と有給休暇取得促進、賃金)に向けた取組状況

#### ○常時雇用する労働者数301人以上企業

・育児のための短時間勤務制度を利用している社員が働きやすいよう、通常の生産ラインよりも働き方に融通が利く生産ライン(通称「子育てライン」)を設置している。このラインの稼働時間は、9時～16時(通常の稼働時間は8時30分～17時30分)で、短時間勤務制度を利用する社員の退社時間にラインが停止するため、制度利用者が退社しやすい環境になっている。

・県外にある各営業所の事務系社員は、一人でアフターサービスの問い合わせなどに応じていた。そのため、休暇が取得しづらい環境であった。そこで、本社にコールセンターを設置し、各営業所にかかってきた電話を集中処理することとした。これにより、本社から各営業所の社員に仕事を割り振る仕組みに変更され、各営業所の事務系社員が休暇を取得しやすい環境になり、また、定時退社ができる環境にもなった。

(金属製品製造業)

#### ○常時雇用する労働者数300人以下企業

・「人」が、最も重要であると位置づけした組織運営を行い、「相互信頼・相互成長」でつくる「いい会社」「強い会社」を実現し、全社員の物心両面の幸福を追求するとの理念のもと、年次有給休暇の取得率を平均70%以上とする目標を設定した。そのため、計画年休制度を導入しつつ、年1回、前年度分の年次有給休暇取得率を社内報及びホームページ上で公表することにしている。その結果、平成28年度は、年次有給休暇の取得率95.3%、平均取得日数で17.3日を達成した。

(産業廃棄物処理業)

・残業時間の見える化、製造部門、総務部門での多能工化による業務量の平準化など、部署ごとの業務の実情に応じた対策に取り組むことで、ここ10年で有給休暇取得率を30%台から60%台に向上させた。

(電気機械器具製造業)

## 多様な求職者の担当窓口の声

①どのような求職者が就職に結びつきやすいと感じているか。

【治療中の者】

- ・病気の特徴を理解し、病状等を企業に告知した上で、就職を希望する者。
- ・自身の病状を管理できていて、今の自分ができることを受け入れている者。
- ・家族が現状を理解し、焦らずにじっくり仕事探しを見守り、協力してくれる者。

【ニート】

- ・自己肯定感が高い方、自己理解ができている者。
- ・コミュニケーション能力等、社会生活をする上での準備ができている者。
- ・就職活動するだけの体力があり、生活リズムが崩れていない者。
- ・ささいな事項でもいいので、小さな成功体験を積み重ね、社会に参画していく意味や自信を持った者。
- ・家族が愛情深く見守り、本人の気持ちを尊重し、焦らずに待ってくれる者。

②求職者が重視している要素はどのようなものがあるか。

【治療中の者】

- ・職場に病気を理解してもらい、仕事内容や通院等のための労働条件に配慮してもらえるか。

【ニート】

- ・職場の上司や同僚と馴染めるかと不安を持つものが多く、人間関係に起因する精神的負担やストレスが溜まらない職場を重視する。
- ・自動車運転免許を持たない者が多いため、自宅近くを希望する者が多い。
- ・就職に対する不安も大きいことから、就職先企業に自身の状態を把握、理解してもらい、職場内のサポートについて希望している。

③最近の求職者の特徴的な動きはないか、その他、選定したターゲットの属性に応じた項目

【治療中の者】

- ・これまでは、企業に病状等を伝えずに就職活動を行うことが多かったが、メディアの影響もあり、最近では病状等をオープンにして就職活動する者が増えてきた。
- ・短期間で退職したくないと就職活動が慎重になっている傾向がある。

【ニート】

- ・情報が入手しやすい環境からか、こだわりが強く、特定の職種など条件を限定して希望する傾向がある。
- ・人間関係や仕事ができるかどうかなどの不安が先に立ってしまう者が多い。  
また、家族が養ってくれて生活に困っていないため、就職を急いでいない。
- ・必要に応じて、地域若者サポートステーションと連携しながら、各種の支援を実施している。また、就職後でも、ハローワーク等の利用が可能であることや就職後の悩み等についても気軽に相談するよう案内している。